

医療社会科学Ⅰ〈A4〉

教員名

教育研究開発センター 教養教育部門
講師 佐々木 洋子

I 一般学習目標

健康や病気、医療が日常生活においてどのように捉えられているかについて、主に（医療）社会学の観点から考察する。とりわけ、（医療者ではない）一般市民の健康や病気についての多様な価値観や行動を理解することを通じて、医療を相対的にとらえる力を養う。

II 個別学習目標

- ・医療社会学の基本的な視点・方法・理論を説明できる。
- ・医療社会学の視点から、病気や健康、医療について考えることができる。
- ・日常生活において病気や健康がどのようにとらえられているかに気を配ることができる。
- ・日本や世界における医療と文化の関係を考えることができる。
- ・近代医療や薬剤のグローバル化に関する歴史的、社会的背景を説明できる。
- ・他者の語りを聞くことができる。
- ・病いの語りの重要性を述べることができる。
- ・病人役割について説明できる。
- ・医師と患者の関係性やその変容について説明できる。
- ・社会関係と健康（病気）の関係について説明できる。
- ・病気や健康、医療に関する自身の価値観を相対化することができる。

III 教育内容

以下のように講義を進める。進度により内容が前後することがある。

1. イントロダクション
2. 身体感覚
3. 生活のなかの医療
4. 文化と病気
5. 「病気」とは
6. 語りを聞く/語る(1)
7. 語りを聞く/語る(2)
8. 病いの語り
9. 自己論
10. 病人役割
11. 医師と患者の関係
12. 社会関係と健康
13. 「健康」への動機付け
14. まとめ

IV 学習および教育方法

講義形式（ディスカッションを取り入れることもある）。適宜、資料を配付する。また、映像資料を用いることもある。

V 評価の方法

定期的に課す授業内課題（コメントペーパーなど）50%、期末試験50%とする。

VI 推薦する参考書
講義中に随時紹介する。

講 義 日 程 表 (医療社会科学Ⅰ)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R3.4.12	(月)	3	イントロダクション	教育研究開発センター	佐々木
2	R3.4.19	(月)	3	身体感覚	教育研究開発センター	佐々木
3	R3.4.26	(月)	3	生活のなかの医療	教育研究開発センター	佐々木
4	R3.5.10	(月)	3	文化と病気	教育研究開発センター	佐々木
5	R3.5.17	(月)	3	「病気」とは	教育研究開発センター	佐々木
6	R3.5.24	(月)	3	語りを聞く/語る(1)	教育研究開発センター	佐々木
7	R3.5.31	(月)	3	語りを聞く/語る(2)	教育研究開発センター	佐々木
8	R3.6.7	(月)	3	病いの語り	教育研究開発センター	佐々木
9	R3.6.14	(月)	3	自己論	教育研究開発センター	佐々木
10	R3.6.21	(月)	3	病人役割	教育研究開発センター	佐々木
11	R3.6.28	(月)	3	医師と患者の関係	教育研究開発センター	佐々木
12	R3.7.5	(月)	3	社会関係と健康	教育研究開発センター	佐々木
13	R3.8.23	(月)	3	「健康」への動機付け	教育研究開発センター	佐々木
14	R3.8.30	(月)	3	まとめ	教育研究開発センター	佐々木